

第 41 回運営会議（2005. 1. 8 開催）結果報告		2005. 1. 11 庶務発信
開催日時：	2005 年 1 月 8 日（土）10:00～11:30	
場 所：	ぱ・る・るプラザ京都 6 階会議室 3	
参加者数：	運営会議委員 7 名（委員長、利水部会長、治水部会長、環境・利用部会長、住民参加部会長、淀川部会長、琵琶湖部会長） 河川管理者 3 名	
検討内容、 決定事項	<p>1. 決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムWGにおける意見書は、アンケート結果とともに、12 月 27 日版（若干の字句修正の上）を事前に全委員に配布する。また、採用されなかった少数意見については、意見書に付帯意見としてつけることとし、その内容は最終委員会で決定する。 ・地域部会での進捗点検に係わる意見書については、各部会で出したものを委員会で了承を得る。矛盾している場合があれば、委員会で議論をする。問題があれば、次期委員会の宿題となる。また、まとめ方については、整備シートの進捗点検が基本であるが、地域の特性等を踏まえて、特に言いたいことがあれば記述する。 ・これまで部会で検討してきた委員の思い（意見）については、意見書としては位置づけない。その思いは、最後の委員会までには出してもらおう。この件については、1 月 11 日の委員会で提案して、1 週間以内に出してもらおう。また、この思い（意見）に、会議の開催経緯やメンバーがわかる活動記録をつける。 ・1 月 11 日の委員会の議事内容は、状況報告、地域部会における検討経過、ダムワーキングに係わる経過及び検討、委員会の今後の運営についてとする。 ・1 月 11 日の委員会の後に、記者会見を実施する。 ・1 月 11 日の委員会では、アンケート結果を一般傍聴者にも配布する。 ・1 月 22 日の最終委員会後の新委員会では、委員長選出までの間、芦田委員長が委員長役を務める。 <p>2. ダムWGにおける意見書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見書は、12 月 20 日版に対して、委員に対するアンケートを行い意見を反映させた 12 月 27 日版でいきたい。また、細かい字句等は任せて欲しい。ただ、委員に対するアンケート結果を一般傍聴者に対して公表するかどうか、また、最終版を事前配布した方がよいのかどうか。 ・内容はよいとしても、賛成したくない委員の意見をどうするか。提言では付帯意見をつけたが、意見書ではつけていない。今回は、委員に思いがあるのではないか。（委員長） ・アンケート結果である程度、少数意見についてありそうかどうかの判断ができるのではないか。最後の委員会に付帯意見として出してはどうか。 <p>3. 地域部会での進捗点検に係わる意見書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会相互でまとめ方の形式が異なっているので気になっている。琵琶湖部会では、整備シートの進捗点検に加えて、琵琶湖の水位操作についてと、基礎案の課題を意見として加えたい。基礎案に書いてないが、どうしても言いたいこともある。 ・淀川部会は、整備シートの進捗点検のみ分かり易く書き、基礎案本体に対する意見は書いていない。最終案のとりまとめは、部会長、榎屋委員、川上委員に一任いただいております、1 月 22 日の委員会前には事前配布してまとめる予定である。 	

- ・猪名川部会は、部会長代理が一括してまとめることになっている。治水等、各部会共通のテーマについては、部会としての意見を添付したい。ダムについては、審議に至っておらず、特にまとめたい。基本的には、都市河川といった猪名川の特性を踏まえて、まとめたい。
- ・基本は河川管理者から要請されている整備シートの進捗点検であるが、琵琶湖の水位操作等、地域の特性があることも事実で、まとめ方は次期委員会のモデルにもなるのではないか。(委員長)
- ・委員会の意見書であるが、部会にお任せでよいのかといった問題もある。例えば、琵琶湖部会としては、こんな意見がありましたと載せるにしても、委員会として決める必要があるのかどうか。
- ・部会としては、何らかのかたちで入れたいということになる。そもそも整備シートの進捗点検についても各部会のもを委員会として了解するのは不可能なので、部会ごとに出すのが正しいのではないか。
←同じ項目について、部会によって言っていることが全く違う場合、特性による違いであればよいが、そうでない場合は困る。いずれにしても、次期委員会で議論させていただきながら、対応していくことになる。(河川管理者)
- ・整備シートの進捗点検は、中間的な取り扱いにせざるを得ない。

4. その他

- ・これまで部会で検討してきた委員の思いを、どうまとめるかも課題となっている。文集のようにするのか、意見書の一部とするのか。(委員長)
- ・個人の意見なので、意見書という訳にはいかない。内容は、次期委員会や河川管理者のメッセージとなるものである。
- ・会議の開催経緯やメンバーがわかる記録（開催記録）と一緒にしてはどうか。
- ・また、開催記録としての紙情報は、保存にも限界があるので、電子化することが必要である。
- ・1月22日の最終委員会後の新委員会では、委員長選出までの間、芦田委員長が委員長役を務める。

以上

※このお知らせは委員の皆様には主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。